

患者さんパンフレット

四国がんセンター



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



抗がん剤治療を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2014年11月5日 作成
2026年3月4日 改訂

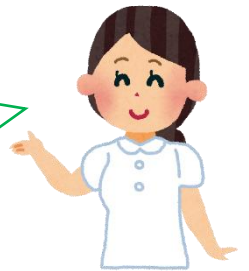
入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- 入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>
11:00	入院
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

【入院後に以下のことを予定しています】

- 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- 検温、血圧測定、身体測定
- 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
- 医師より治療の説明があります
- サインをした同意書は看護師にお渡しください
- 薬剤師より薬の説明をします
- 看護師より、治療スケジュール、副作用と自己チェック、日常生活の注意点について説明をします
- 味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください
- わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください

<お薬>

- 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

<清潔>

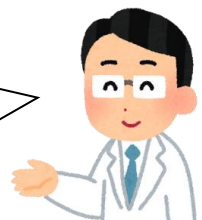
- 治療前日はシャワー浴をしましょう

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります



医療スタッフの目標

- 入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





今日の目標

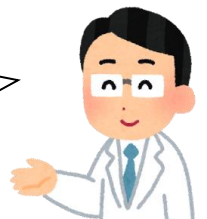
- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床 検温、血圧測定	シャワー浴を希望する場合は、点滴前に入れるよう看護師と相談しましょう
7:30	朝食	看護師と一緒に治療スケジュールを確認しましょう 「入院中の生活の注意点」ページ参照
10:00	検温 血圧測定	副作用と対策について説明します 過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐について 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
12:00	昼食	点滴を始めます • 抗がん剤の投与前、開始5分後、終了時には、血圧、脈拍を測定します • 点滴中は看護師が頻回に伺います • 点滴が終了したら針を抜きます
14:00	検温 血圧測定	
18:00	夕食	• 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください • 息が苦しい、咳が出る、ドキドキする、体が熱いときは、すぐにお知らせください • 治療後は十分な水分をとりましょう
19:00	検温 血圧測定	
21:30	消灯	



医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

水分をしっかりとりましょう

副作用と対策について説明します
治療2日目：味覚障害、食欲不振
治療3日目：口内炎
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

体調に合わせて
シャワー浴をしましょう



フタをして
水を2回流しましょう

- 針の入っていたところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 吐き気や食欲がない、便秘、下痢など気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 口内炎予防のため、お口の中をきれいにしましょう



医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出の早期発見に努めます

治療後の観察期間 月 日～



今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
	水分をしっかりとりましょう
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
	副作用と対策について説明します 治療4日目：神経障害、脱毛について 治療5日目：骨髄毒性 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」パンフレット参照
12:00	昼食
	体調に合わせて シャワー浴をしましょう
	• 吐き気や食欲がない、便秘、下痢など気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください • 口内炎予防のため、お口の中をきれいにしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯



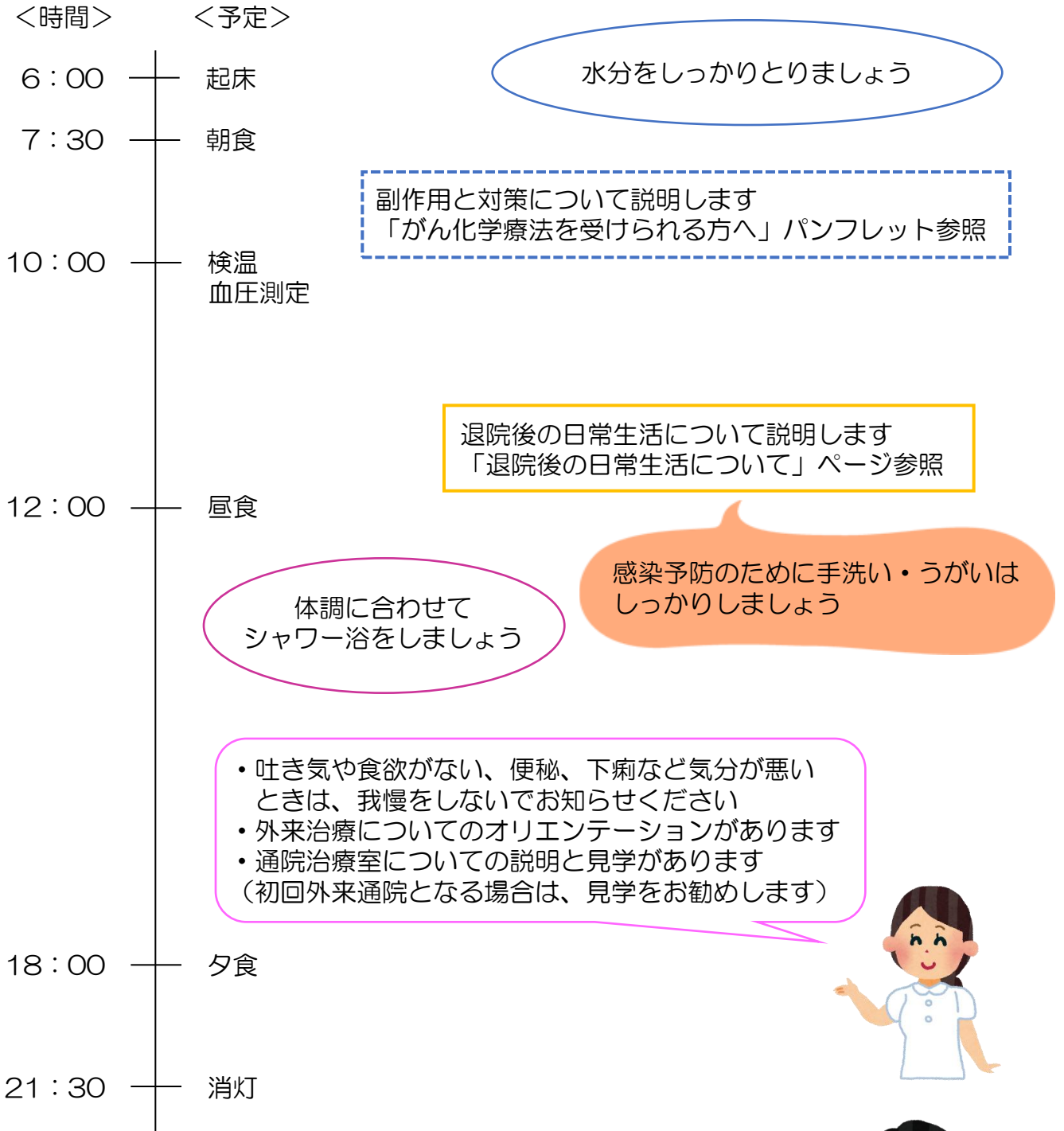
医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます



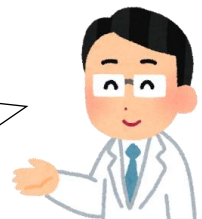
今日の目標

- 副作用について理解できる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる



医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
	お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします 次回外来予約票をお渡しします
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようにご確認ください 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、 2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

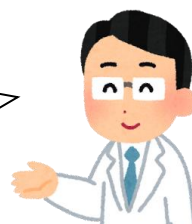
- * 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
- * 退院してからの様子（副作用症状の有無や程度）を記入したメモなどがあれば
次回外来受診時または入院時にお持ちください

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット、
薬剤師がお渡しした冊子の副作用症状について再度
確認し、次の治療に向けて体調を整えておきましょう



医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

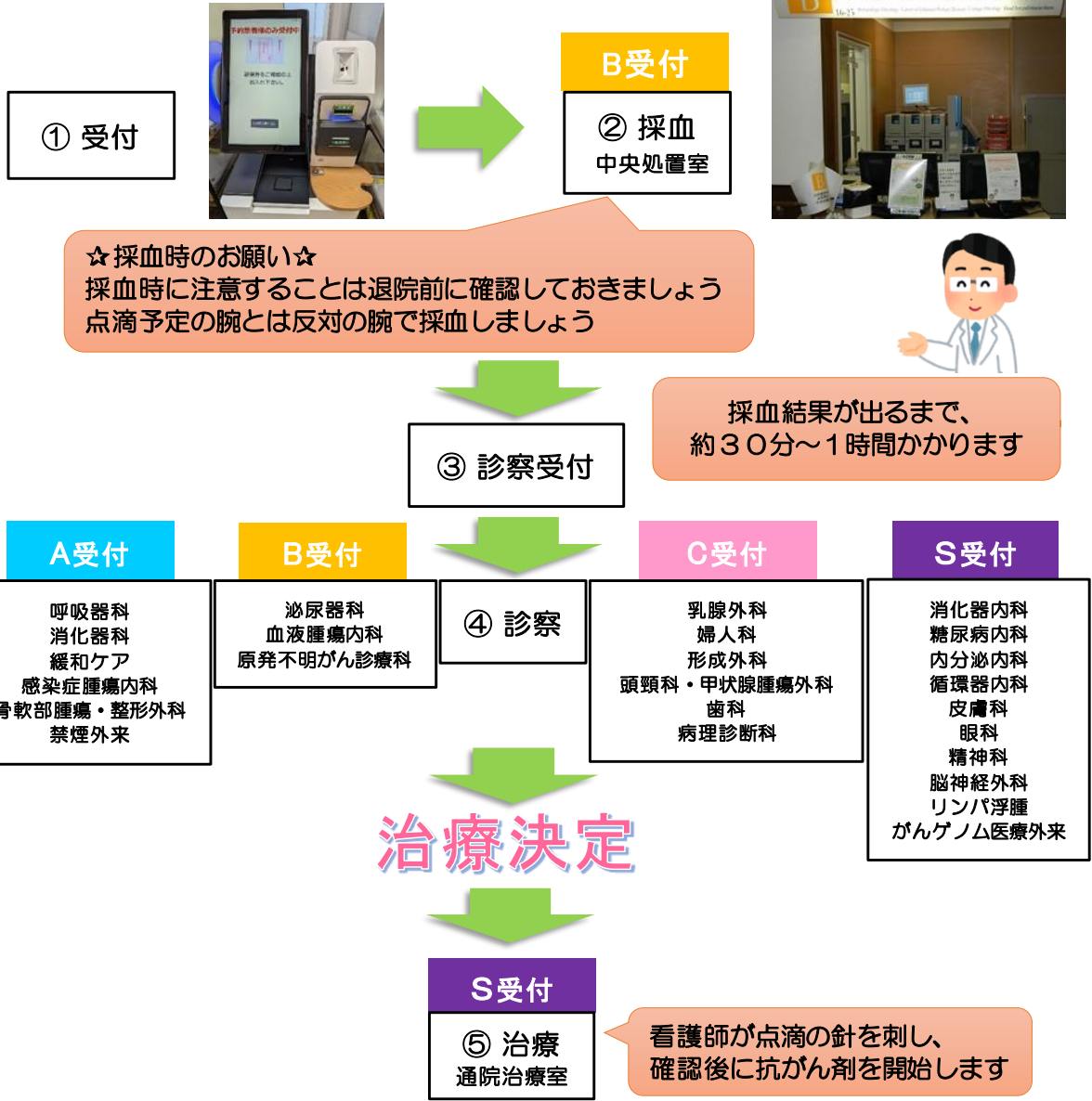
お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

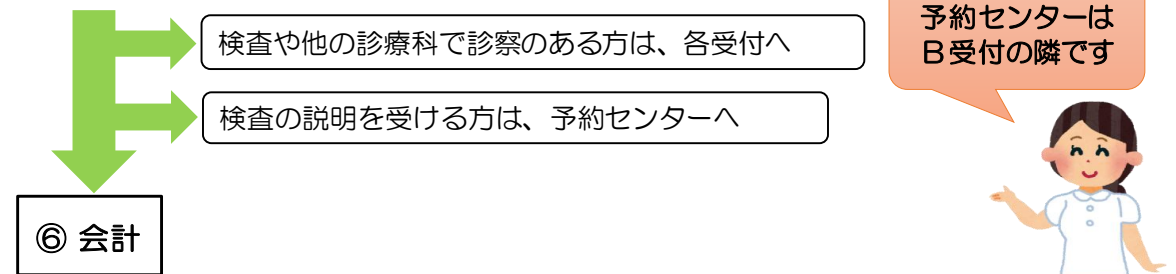
気になる製品については購入方法をお伝えしています

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ



治療終了



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



●発熱

37.5℃以上の熱がでた場合、退院前に薬が処方されている方は、医師の指示どおりに抗生剤や解熱剤を服用しましょう
服用しても熱が続く場合は、がん相談支援センターにご相談ください
薬が処方されていない方は病院に連絡しましょう

●排泄

毎日排便があるようにしましょう
軽い運動や水分を多めにとりましょう
下痢のときは白湯やスポーツ飲料などをとりましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
便秘気味の方は、緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）で排便コントロールをしましょう
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

*退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、または、四国がんセンターの医師の診察を受けるようにしましょう

●活動

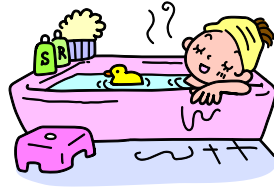
無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●入浴

特に制限はありません



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
ほかの病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



治験参加中の方は、お薬や副作用出現時の対応について
担当のCRC※と確認しておきましょう

※CRCとは、臨床研究コーディネーターのことです
治験参加中の患者さんには、担当のCRCがつきます



MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



- 37.5℃以上の熱が出たとき
- 数日間食事、水分がとれないとき
- 嘔吐が続くとき
- 下痢、便秘が続くとき

上記のような症状がある場合や、ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

* 治験参加中の方

【平日】 9：00～17：00
四国がんセンター 臨床研究センター
(直通番号) 089-999-1196

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更

【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



抗がん剤治療を受けられる方へ